

# NEW YEAR CONCERT 2015

## Symphonie-Orchester Der Volksoper Wien

名歌手たちに、バレエ団メンバーが加わって、ウィーン・フィルと並び世界最高のウィンナ・ワルツ、ポルカを聴かせてくれる、ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団が奏でるワルツ、ポルカ、オペレッタの名曲の数々をたっぷりとお楽しみください。

**ソプラノ: アンドレア・ロスト** *Andrea Rost, soprano*  
1989年ハンガリー国立歌劇場でオペラ・デビュー。91年にはウィーン国立歌劇場とソリスト専属契約を結び、『ドン・ジョヴァンニ』『フィガロの結婚』『愛の妙薬』『ランメルモールのルチア』などで成功を収める。94年にはムーティに招かれ、ミラノ・スカラ座にデビュー。ザルツブルグ音楽祭、メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、コヴェントガーデン王立歌劇場などに出演。2012年、13年のニューイヤー・コンサートに出演し、大好評を博した。



り、同劇場の“オペレッタ黄金時代”を築く。95年から音楽監督を務める「メルビッシュ湖上オペレッタ」を“ウィンナ・オペレッタ”のメッカにした功績等により、オーストリア科学・芸術功労十字賞(第一等)授与。85歳を迎えた今もなお、ウィンナ・ワルツ独特の三拍子やテンポの良さで観客を魅了し、50曲ものオペレッタを暗譜しているという伝説の指揮者。今回で、フォルクスオーパー響との日本ツアーは引退する。



**テノール: メルツァード・モンタゼーリ** *Mehrzad Montazeri, tenor*  
ウィーンのシューベルト音楽院、ウィーン音楽大学で学ぶ。フォルクスオーパーには2004/05年シーズンにデビュー。08年6月に行われた日本公演『マルタ』のライオネル役では、その類まれな歌唱と容姿がいまって絶賛を博した。フォルクスオーパーのニューイヤー・コンサートへの出演は、テノールとして最多を数え、09年、10年、12年、13年と日本の聴衆に受け入れられ、昨年に続き5度目の登場となる。



### 管弦楽: ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団

*Symphonie-Orchester Der Volksoper Wien*

ウィーン・フィルと並び世界最高のウィンナ・ワルツ、ポルカを聴かせてくれるこの楽団は、ウィーンを代表するオペラ・オペレッタハウスとして1898年に皇帝フランツ・ヨーゼフ即位50周年を記念して創設されたウィーン・フォルクスオーパー(国民劇場)のオーケストラ・メンバーにより結成。毎年、お正月の日本にウィーンの薫りを届けてくれる。

### 舞踏: ウィーン・フォルクスオーパー・バレエ団メンバー

*Members of "Verein Ballet der Volksoper Wien", dance*

ウィンナ・ワルツの研究と継承、および典型的なウィンナ・ダンスの保護を目的としてウィーン・フォルクスオーパーを母体に結成されたバレエ団。今回は選りすぐり2組のペアがKitaraの舞台に登場する。

**指揮: ルドルフ・ビーブル** *Prof. Rudolf Bibl, conductor*  
ウィーン・フォルクスオーパー名誉指揮者。1973年より専属指揮者とな



## 野菜たちの大合奏。

新鮮な野菜たちが集まって作るサラダは、まるでオーケストラのよう。それぞれの個性を際立たせながら、キューピーがおいしく仕上げます。

愛は食卓にある。 **キューピー** 